

## JPLの運営手引書 2018

JPLは国内最高峰のリーグとして組織されたリーグで、クリケットをより広い客層にPRするための「目玉商品」である。そのため、JPLを魅力あるスポーツ体験として作り上げることに努力を惜しまない。

2016年以降は地域協会が地域チームの運営を引き継いで、地域チームはJPLに参戦する。北関東、南関東、東関東そして西関東の代表チームが対戦する4チームの大会が計画されている。この大会は3つの試合日に亘って開催される予定で、各チームが残りの3チームとそれぞれダブルヘッダーで対戦し、合計6試合を戦う。At the conclusion of the six matches a final will be played between the top two teams.

JCAは大会を成功に導く地域協会の努力に感謝し、運営に関わっているボランティアの労力にも感謝する。

地域協会が地域のJPLチームを運営し、試合を開催する力を可能な限り引き出すために、JCAはこの運営手引書を準備している。下記の項目はJPLのチーム運営とJPLのイベント開催において最低限達成しなければならない水準として捉えてほしい。

### JPLの目的

- 各地域の選手のための日本代表への道筋をつくること
- 各地域においての高い水準のクリケットに参加する機会を提供すること
- 各地域協会の対象地域ひいては日本全国において、クリケットを普及すること

### JPLの運営

- 各地域協会はみずからのJPLチームを運営する
- 各地域協会はチームを運営するための公式JPLマネージャーを任命する
  - マネージャーは試合日前のチームの準備に責任を持つ。
  - 試合の開催を成功に導くためにはその他にも大勢のボランティアが関わる事が期待される。

### ユニフォーム

- すべてのチームは白以外のユニフォームを使用する。ユニフォームは下記のものからなる
  - シャツ（長袖または半袖）
  - パンツ
  - キャップ
- 各チームで定められたユニフォームを規則通り身に付けていない選手はフィールドに入ることができない。チームの公式なキャップと異なるキャップを被ってはいけません。
- 選手はユニフォームの下にアンダーシャツを付けても良いが、下記の条件を満たしていなければならない
  - 黒 又は
  - チームのユニフォームと同じ色

- 白いボールが使用されるため、白いアンダーシャツを禁じる
- ユニフォーム販売業者のリストが2月に地域協会へ送付されるが、地域協会は適時ユニフォーム発注に責任を負う。
- シャツは以下の条件を満たさなければならない：
  - 左胸に地域協会のロゴが入っていること
  - 背中に背番号が入っていること
    - 各プレイヤーは異なる番号を付けなければならない
    - 背番号は40cmくらいの高さで観客が見えて、カメラが捉える大きさでなければならない
- 任意で下記の項目も可能
  - 胸下にチームの主幹スポンサーの名前
    - スポンサーの名前をユニフォームに付ける前にJCAの承認が必要
  - 右胸、背中、そして袖にその他のスポンサー名
    - JCAが今後、地域協会に対して公式なスポンサーのロゴを入れるように要請する場合もある。今年はその要請はない。
  - 背番号の下に選手の名前
    - 名字しか入れてはいけない。ニックネームは不可
    - シャツに入りきらない非常に長い名字は省略すること、代わりに下の名前を使うことも可能
      - 判断が難しい場合、JCAに要相談
    - 各文字の高さは約6cmにすべき
    - 選手の名前を入れる場合、注文したユニフォームが締切前に受領できるタイミングでメンバーの選定を行われなければならない
- キャップには地域協会ロゴまたはチームのロゴをいれる
- ユニフォームのデザインは主に一色からなる
  - 承認された色
    - 緑（深緑、黄緑）、紺色、青色（水色）、橙、紫、黄色、ピンク
  - 禁止されている色
    - 白、黒、赤（赤いボールを使う場合があるため）
    - ロゴ、スポンサー名などを含めて、出来るだけ白の使用を控える
    - オーストラリアのBBL T20リーグと同じような色やデザインが推奨されている
- 他のチームが既に使用している色を使用することができないので、発注をかける前にJCAに使用したいデザインを報告してください。
- 3月11日より前にユニフォームのデザインをJCA承認のための申請をしてください。
- ユニフォームは5月1日までに出来上がらなければならない。（その直後にPR用の写真撮影会があるので）

## チームの選定

- 地域協会は選抜メンバーとその中から選ばれる11人の選抜チーム（午前・午後の試合のそれぞれ11人）を選定するための選定委員会を設置しなければならない。
  - 通常、PLのマネージャー又はJPLの選抜チームのキャプテンは委員を務める。

- 地域協会は暫定選抜メンバーのリストを4月27日までにJCAまで提出しなければならない。
  - この暫定リストにはちょうど20人の名前を記載しなければならない
  - メンバーは原則として、バランスの良さを考慮つつ、出場できる最強の選手から構成されることとする。
    - JCAは選定方針のひな形を提供する
  - リストに記載されている選手の名前は日英併記で記載しなければならない。所属チームも併せて記載することとする。
    - 例：
      - Satoshi Nakano 中野聡 (Keio Uni)
      - Prashant Kale プラシャント カレ (Indian Engineers)
  - リストではキャプテンも明記する。
  - 地域協会の選抜チームとして参加する資格をもつ日本男子代表メンバーは選定されなければならない。
    - JCAは日本代表のリストを地域協会に提供する。
  - JCAは選手の参加資格を確認し、5月4日までに選抜メンバーの承認を行う。
    - 選抜メンバーはJCAのHPで発表される。
  - 5月4日までに地域協会の所属クラブに選抜メンバーの通知を行う。
- 暫定選抜メンバー20人を選定する際、地域協会は可能な限り、下記の方針に従わなければならない。
  - 日本の選手を少なくとも6人
    - ここでいう「日本の選手」とは日本の旅券を持つ者、日本で生まれた者、日本でジュニアクリケットに参加してきた者のことを指す。
  - 2018年4月2日付けで23未満の選手を少なくとも6人
  - 地域所属各クラブから少なくとも1人
- 4月27日の締切を過ぎてからシーズンが終るまでの間に最多3人の追加任命を行っても良いこととする。
  - 地域協会は選抜メンバーに選手を追加する前にJCAに報告しなければならない。
- チームのメンバーとして選定される選手は公式な地域協会選抜メンバーでなければならない。
  - 公式選抜メンバー以外の選手を出場させた場合、試合は棄権となり、JCAが決定する減点処分も課される。試合結果は相手チームの勝利とされる。
- 海外在住で現在日本のクリケットクラブに所属していない選手は下記の条件で選抜メンバーとして検討してもよい。
  - 海外在住の選手は他の地域でジャパンカップに参戦しているチームに所属していない。
  - 海外在住選手の参加は、地域内のクリケット活動を普及させる戦略と合致している。例：「有名」な選手で観客動員やメディア注目につながるような選手。
  - 選抜メンバーの中の海外在住選手は4人を超えない。
  - 海外在住の選手を後日追加する場合、JCAへ事前に連絡をする。
- 全選手（海外在住選手を含む）がJCAに登録し、適切なスポーツ保険を付帯していることは必要不可欠。

## 試合開催日

- 開催する側の地域協会は、最大の努力を尽くし相手チームを歓迎する。
  - 両チームがいつでも水が飲めるように水を用意すること
  - 両チームのために適切な座席や日除けを用意すること
- 昼食の準備は必要条件ではないが、開催する側は相手側に事前に食事の提供の有無について連絡すること
- 開催される側の地域協会はグラウンドの準備と後片付けに責任を持つ。
- 試合開始時刻
  - 第1試合 10:30-13:30
  - 第2試合 14:00-17:00
  - コイントスは試合開始時刻20分前に行われる
  - 試合開始時刻が変更される場合、両チーム、JCAや来賓に通知しなければならない
  - 地域協会の役員は、十分な余裕を持って、試合開始時刻より前に準備を完了させなければならない。
- ボール
  - 公式な試合球は Kookaburra Red King 156g（白）
  - ボールはJCAから注文できる
  - 各チームはそれぞれの試合のためにボールを一つ用意しなければならない（試合開催日1日に付き2球）
  - 試合球が紛失されるなど交換が必要な場合に備えて、スコアラーの側に予備球（156g、白）を用意しなければならない。
- 2番目の試合が終了する直後に、開催する側の地域協会が簡単な式典を開催することとする。式典には以下の項目が実行される。
  - 試合結果の発表
  - 下記の方に対して、感謝の意を表明
    - アンパイア
    - ボランティア
    - 来賓（例えば、町の役員など）
    - イベントのスポンサー
  - MVP（各試合のMVP、その他の賞）
    - 受賞者はアンパイアが決定する
    - MVPやその他の賞の授与は地域協会の裁量に任せる
- 開催側の地域協会は観客（特に来賓やスポンサー）に以下の情報を提供することとする。
  - クリケットの競技規則
  - JPLについての基本情報
  - 地元のクリケットの支援の仕方
- 観客が購入できる食事・飲み物の用意を推奨する。
- JCAは開催する町のジュニアプレイヤーに対してがJPLの試合の観戦を促している。地域協会はクリケットブラストなどジュニアプレイヤーが楽しめるアクティビティを用意すると望ましい。

- ジュニアプレイヤーのためのアクティビティやジュニアクリケットの普及戦略についてはJCAまで連絡してください。
- 全ての選手・アンパイア・観客が見ることができる場所にスコアボードをおかなければならない。
  - スコアボードは少なくとも毎オーバー、出来ればボール毎に更新しなければならない。
- 選手と観客の怪我に備えて、救急箱を用意しなければならない。
- 選抜チームに入っていない地域内の選手に対して、チームを応援しにくるように十分に促すことを勧める。
  - こういった選手はクラブチームのユニフォームを着用し、ジュニア用のアクティビティの手助けをすると良い。
- RAは付き合いのある業者などを通して、試合が「お祭りの雰囲気」の中で開催できるように務めなければならない。

## アンパイア

- アンパイアはJCAのアンパイアコーディネーターに任命される
  - 要請があった場合、開催する側の地域協会はアンパイアの交通費を負担しなければならない。
  - アンパイアは試合終了後オンラインのアンパイアレポートを記入しなければならない。

## グラウンド・ピッチ

- 2016のJPLで使用可能なピッチは以下の通り：
  - ターフ
    - 今現在ターフのピッチは1つしかない（JCAが佐野市で用意した田沼グラウンド）
    - 他の開催地でターフのピッチを導入するには相当な準備が必要になるので、計画する前にJCAと相談しなければならない
  - 人工ターフ
    - 現在は佐野市のグラウンドにしかない
  - Flicxの携帯型ピッチ
    - 開催する側の地域協会はマットの下の地面が平らで、ボールのバウンドが一定であることを確認しなければならない
    - 開催者は試合が開始される前に安全確認を行われなければならない
- 開催する側の地域協会は全ての用具をしなければならない。
  - スタンプ、ベイル、30ヤードマーカー、バウンダリーロープ・コーン
- バウンダリーの長さは開催する側の地域協会に決定されるが基本としてはウィケットから横方向のバウンダリーも、ウィケットから横方向のバウンダリーも長さが60~70メートルでなければならない、(各距離はピッチの中央からバウンダリーまで計測された距離)

- バウンダリー線はロープでもコーンでも（又はその両方）マーキングしてもよいが、アンパイア・プレイヤー・観客にはっきりと見えているのが条件。

## 試合開始日の実務

- 開催側の地域協会は各試合のためのスコアラーを2人派遣しなければならない。
  - 正確なスコアを記載して行くことが重要であるので、スコアラーは適切な能力を持たなければならない。JCAのスコアラー講座を受講した者が理想的。
  - 可能であれば、スコアラーはドレスコードに沿った洋服を身につけることが望ましい。地域協会はドレスコードを定めることとする。例：地域協会のポロシャツに黒いズボン
- スコアブックは出来る限り以下の様に運用される
  - 公式なスコアブック1本（紙ベース）
  - CricHQ アップを使ったライブスコアブック（オンライン）
    - ライブスコアリングの仕方について「クラブのための CricHQ手引書を参考にしてください」
    - 保護された3G/4G/wifi サービスが必要
- 何らかの理由でライブスコアをつけることができなければ、開催する側の地域協会は、試合終了後夜21:00時前に公式なスコアをCricHQ スコアシステムまでアップロードしなければならない。
- 地域協会の公式Twitterアカウントを使用し、#JPLcricketというハッシュタグをつけて、最新のスコアを頻繁にツイートすることを勧めている。
- 各チームはコイントス前にアンパイアとスコアラーの両方にチームシート（計2枚）を手渡さなければならない。

## メディア対応

- JCAの要請に応じて、各地域協会から1人の選手がPR用の公式な撮影会とPR活動に参加しなければならない。このイベントは3月25日と26日に開催される
  - 撮影会に参加する選手は規則に沿ったユニフォームを持参しなければならない。
- 撮影会を開催する地域協会は地元のメディアに対してイベントを告知する努力をしなければならない。JCAは地元のメディアの連絡先を提供する場合もあるが、地域協会は連絡先の入手に積極的に動かなければならない。
- 地域協会は可能な限り、各試合日において公式なフォトグラファーを任命しなければならない。
  - プロのフォトグラファーを採用することも可能だが、現実的には質の良いカメラと撮影する技術を持つ地域協会のメンバーがボランティアとして撮影することが想定される。
- 試合翌日の夜9時前に以下のものをJCAに提出しなければならない：
  - 新聞記事の形式に沿った試合の概要報告。開催場所・日付・両チーム名・試合結果・目立った成績など基本的な情報を盛り込まなければならない。
    - 長さの目安としては200-500ワードが適切
    - 可能であれば、日英併記の形での提出が望ましい。

- 質の良い写真
  - 推奨枚数は5～10枚。写真に写っている選手全員がこの資料のユニフォームの章で定められる最低限の水準を超えるようなユニフォームを身につけていることを確認する。
  - 写真の対象は、試合の様子・選手のガッツポーズ・試合後の式典・出席した来賓など様々な対象が望ましい。
- 試合の概要報告と写真を下記のアドレスまでメールで送信してください。  
[d-bedingfield@cricket.or.jp](mailto:d-bedingfield@cricket.or.jp)

### 自治体による後援

- 地元の自治体（昭島市・佐野市・山武市・横浜市）に、JPLの公式な後援者になるよう打診してください。

### 地域協会に対するJCAの支援

上記についての疑問がある場合や上記で定められた基準を満たすのに援助が必要な場合は、JCAコミュニティークリケットマネージャーのDhugal Bedingfield (090-8455-4441 [d-bedingfield@cricket.or.jp](mailto:d-bedingfield@cricket.or.jp)) までご連絡ください。